

広報にしあいづ

平成
30年
4月号

April 2018 No.714

Nishiaizu



春の陽気に誘われて
見上げれば、桜

もくじ — Contents —

P 2 平成 30 年度 町政執行にあたっての基本方針

P 8 まちの話題

西会津中卒業式、町消防団に竿頭綬、西会津高卒業式、車麯ラスク
に新風味、ボランティア感謝祭（ほか）

P 12 町からのお知らせ&ニュース

町教育顕彰表彰式、新1年生紹介、奥川健康マラソン大会参加者募集、
町役場の組織変更のお知らせ（ほか）



一人一人の学力向上に向けた指導の工夫・改善を図っていきます。さらには、これまで実施してきたアントレプレナーシップ教育や職場体験、ボランティア活動といった多様な経験を通し、児童生徒の主体的な課題解決能力の向上を目指していきます。

併せて、県のモデル事業として取り組んでいる「地域学校協働活動事業」「放課後子どもプラン推進事業」「学校支援地域本部事業」により、さらに地域・学校・家庭が一体となって子どもを育てる体制づくりを強化し、郷土愛を育む教育を進めていきます。

このほか、西会津小学校のプールについては、保護者を対象としたアンケートの結果を尊重しながら、平成30年度中に整備する予定です。

また、県立西会津高校は1学年1学級規模の本校として維持されることになりました。

生涯学習の推進

町民の皆さんが生涯を通じて学べる環境づくりを進めるため、町民の学ぶ意欲が高まる講座や教室、地域に向かい行う出前講座などを引き続き開催していきます。

スポーツの推進

誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整え、心身の健康づくりに努めていきます。特に、ふくし

ま駅伝をはじめとする市町村対抗の3大会については、チーム力と技術の向上につながる取り組みを実施するほか、スポーツ少年団の自主的な活動を積極的に支援します。

芸術文化活動

先人から受け継いできた地域之宝である貴重な文化財や伝統文化、民俗芸能などを次の世代へ確かに引き継ぐため、平成29年度に策定した「西会津町歴史文化基本構想」の具現化を図り、文化財の保存、伝承、活用に努め、地域づくりにつなげていきます。



こころ豊かな人を育むまちづくり

子育ての充実

子育て世代の経済的な負担を軽減し、より子どもを産み育てやすい環境を整えるため、平成30年度より保育施設利用時の保育料を全て無料にします。

昨年4月に開園した「西会津町こゆりこども園」は、認定こども園としての機能に加え、子育て支援センターや放課後児童クラブを併設した、子育て支援の拠点施設です。この役割をしっかりと果たしていくため、子育て世代の皆さんがさらに気軽に利用で

教育の充実

きる環境を整えていくとともに、隣接する小・中学校との事業連携や共同活動、情報交換がスムーズに行える体制づくりに向けて話し合いを進めていきます。

ICTを活用した産官学民との連携や地域の多様な人材が積極的に教育をサポートできる教育環境づくりを進めていきます。

また、学力向上に向け、「IR Tテスト」の導入などにより児童生徒の経年的な学力の変化を把握・分析し、子ども



平成30年度 町政執行にあたっての 基本方針

平成30年度の町政執行にあたっては、現行の「西会津町総合計画・後期計画」に基づき、計画の柱である「こころ豊かな人を育むまちづくり」「豊かで魅力あるまちづくり」「人と自然にやさしいまちづくり」をもとに、各種施策を総合的に実施していきます。また、本年度は、現行の「西会津町総合計画・後期計画」の最終年度となることから、計画の実施に合わせてこれまでの取り組みの評価・検証を行い、平成31年度を初年度とする新しい「西会津町総合計画」の策定に取り組んでいきます。

さらに、「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「雇用の創出」「町への新しい人の流れづくり」「若い世代の結婚・出産・子育てへの支援」「安心な暮らしを守り、地域づくりを推進」の4つを基本目標として、本年度も引き続き具体的な事業を実施し、人口減少対策や町の活性化を積極的に推進していきます。

豊かで魅力あるまちづくり

農林業の振興

国の米政策改革に伴う生産数量目標の配分や米の直接支払交付金が廃止されるなど、平成30年度は農業を取り巻く状況が大きく変わり、今後の農業経営の見直しを迫られる重要な年度です。これまで以上に農家目線に立ち、地域の実情に沿った農林業の振興施策を実施し、町の主要作物である米・ミネラル野菜・キノコを3本の柱とした「農林業の振興による豊かな町の実現」を目指していきます。

林業専用の整備

新たな取り組みとして、「林業専用道」の整備に取り組みます。これまで町が整備してきた林道は、大型トラックや普通乗用車の走行を想定し、生活道路としても利用されています。しかし、開設コストが高いことが難点でした。一方、森林施業

の作業道は、主に林内作業用キャタピラー車の走行を想定しているため、搬出運搬等の効率が良くありません。

今回の林業専用道は、林道と作業道をつなぐ役割を果たす道で、大型トラックが通行可能な構造とするものの、舗装せず、現場の地形に合わせて工法を使いコストダウンを図ります。この林業専用道を杉山地区に平成30年度から3カ年で整備し、効率的に森林施業が行えるようにします。

米の販売促進

西会津産米の品質向上を図るため、西会津一うまい米コンテストの開催や、入賞米の全国コンクール出品などを引き続き実施します。さらに、町単独事業により米の食味計を新たに導入し、本町独自の付加価値付けを行うとともに、生産者や生産者団体と一体となった販路開拓やPR活動を行い、西会

津産米のブランド化と販売促進を図っていきます。

ミネラル栽培

ミネラル栽培の原点である「健康な土づくり」の取り組みが20周年を迎えたことから、本年度に記念大会を開催し、今後5年、10年の目標を定めるなど、生産意識の高揚を図り、生産者や関係機関と一体となって生産拡大を推進していきます。

菌床キノコの振興

念願だった菌床培養施設が計画通りに完成したこと、平成30年度は次のステップとして通年の生産出荷と作業の効率化を進めていきます。また、新規就農者の研修に役立てるため、菌床培養施設の周辺に冷暖房付きパイプハウスを5棟整備する「生産施設の団地化事業」に新たに取り組みます。生産者と一体となり、一層の菌床キノコの大規模産地化を

推進していきます。

鳥獣被害対策

平成30年度も狩猟免許所持者2名によるパトロールを継続し、有害鳥獣出没時に迅速な対応を行えるよう備えます。また、新たな取り組みとして、集落ぐるみで行う電気柵共同設置など、有害鳥獣が出没しにくい環境づくりのモデル対策を実施していきます。

さらに、専門的な知識を有し、本町の鳥獣被害対策のリーダーとなる専門員を育成する、県の鳥獣被害対策市町村リーダー育成モデル事業にも取り組みます。

風評払拭に向けて

町内産の農林産物は、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響が今も続いています。本年度も農林産物のモニタリング検査や米の全量全袋検査など継続して行い、安全・安心な



平成30年度 町政執行にあたっての基本方針

農林産物の出荷・販売に取り組んでいきます。また、これまで町とJA会津よつばが共同で行ってきた首都圏での町内産農林産物のトップセールスを継続して行うほか、本年度も会津17市町村長合同のトップセールスが計画されており、積極的に風評払拭に向け取り組んでいきます。

商工業の振興

個人事業主を含めた企業などに経営基盤強化のための資金を貸し付ける「中小企業振興資金貸付事業」をはじめ、町内企業などが実施する研修や商談会等への費用助成を引き続き行います。併せて「無料職業紹介事業」を継続し、雇用の創出と確保を図ります。

LED灯の交換支援

これまでLED化への支援を行ってきた野沢まちなかの街路灯に、経年による球切れなどの故障が増えてきました。自治区の負担軽減と安全・安心な環境の維持を目的に、本年度から新たにLED灯の交換に要する

費用の一部を支援します。

観光の振興

昨年開催を見合わせた「西会津なつかしCarショー」は、3月2日に実行委員会の設立総会を開催し、新たな体制で本年5月27日に復活開催することになりました。本町最大規模の交流イベントの成功に努めていきます。

また、さらなる交流人口の拡大に向け、関係機関と連携し、日本遺産事業の推進や戊辰150周年事業などに取り組んでいきます。さらに、さゆり公園野球場のスコアボードなどを更新して利用者の利便性向上を図るとともに、福島ホープスとの連携や、さゆり公園を活用した合宿の誘致などについても積極的に取り組んでいきます。

地域資源の活用

地域資源を活用し、自ら地域活性化に取り組む団体などを支援する「活力ある地域づくり支援事業」や、そうした活動のリーダー的役割を担う若者を育

成・支援する「若者リーダー育成事業」を継続して実施し、さまざまな課題について自ら考え、行動し、解決する力をもった地域や人材の育成に努めていきます。

定住と交流

若者の移住・定住を促進するため、住宅取得にかかる費用の一部を助成する「定住促進助成事業補助金」を継続するほか、任期を終了した地域おこし協力隊員や若者などが空き家を活用して起業する場合の支援制度も継続します。併せて、いわゆる「婚活イベント」である後継者対策事業の成婚率向上にも取り組んでいきます。

西会津国際芸術村に窓口がある「移住・定住総合支援センター」では、これまで11組17人の移住をコーディネートするなど、一定の成果を上げています。この窓口との連携を強化しながら、今後も首都圏からの移住者を呼び込むため、都内にある「ふるさと回帰支援センター」への働き掛けや、空き家情報の提供など

を行い、移住者の増加に向け取り組んでいきます。

西会津応援大使

平成30年度から新たに「西会津応援大使」を就任します。大使には、在京西会津会会員をはじめ、町出身者、あるいはゆかりのある著名人、各分野で活躍している人、町を応援してくれる人を任命します。そして、町政運営に有益な情報の収集をしてもらうとともに、町の情報発信してもらい、広域的に「人」を介した情報の収集と発信を強化し、地域振興につなげていきます。

ふるさと納税

応援寄付金制度、いわゆる「ふるさと納税」は、平成30年度から返礼品を全面的にリニューアルします。また、インターネットのポータルサイトへの掲載を実施し、町の魅力を広く周知していきます。さらにクレジットカード決済を可能にするなど、寄付者の利便性の向上を図りながら、寄付金の増収につなげていきます。

人と自然にやさしいまちづくり

健康づくり

課題となつて
いる若年層の
健康意識の高
揚や、町内企業への健康づく
り支援を進めます。また、年
間を通して健康づくりに取り
組んでもらうため、「健康ポ
イント事業」を継続し、町民
自らが自分の健康を意識でき
るような仕組みづくりを進め
ていきます。

健康づくりの基本となる
「食」の大切さの普及、そし
て「運動」の習慣化に向け、
食生活改善推進員、健康運動
推進員の活動を強化すると
ともに、「健（検）診」の受診
率の向上、精密検査（2次検
診）の受診率向上に努め、病
気の早期発見・早期治療につ
なげていきます。

医療の実

歯科を除く町
内唯一の医療
機関である町
国保診療所は、町民への医療
の提供のほか、町内の施設入

所者への診療や、学校医・産
業医など、町内の医療サービ
スのほぼ全般を担っていま
す。このため、医師の確保に
向けた取り組みを強力かつ早
期に進め、医療体制の整備と
安定した地域医療サービスの
充実に努めていきます。

高齢者福祉

平成29年度に
策定した「西
会津町第7期
介護保険事業計画・第8期高
齢者福祉計画」に基づき、元
気な高齢者から要介護高齢者
まで全ての高齢者の皆さんが
切れ目のない連続した介護予
防に取り組める体制を整備し
ていきます。

また、医療や介護サービス
が必要となった場合には、医
療と介護の連携によるスムー
ズな連絡調整を行い、生活を
支える体制づくりを進めてい
きます。

さらに、近年は認知症に関
連する相談が増えていること

から、本人やその家族へのき
め細やかな支援体制を構築し
ます。高齢になつても、住み
なれた地域でその人らしく生
活できるよう、サロンや地域
ネットワークづくりを支援す
るとともに、見守り協定を締
結した郵便局や宅配業者など
と連携し、地域での見守り体
制を強化していきます。

また、本年度からは雪処理
支援隊の充実に加え、高齢者
世帯などに対する「除排雪費
用助成事業」を豪雪対策本部
の設置の有無に関わらず新た
に実施することとしています。

障がい者福祉

「西会津町授
産場」や「相
談支援事業所
にしあいづ」にここに相談
所」などを活用しながら、誰
もが安心して生活できるまち
づくりを目指していきます。

交通安全

近年、全国的
な問題となっ
ている高齢者

の自動車運転事故対策とし
て、平成30年度からは運転免
許証を自主返納した人に対す
る支援事業を実施します。

道路整備

安全・安心の
確保と持続性
のある地域づ
くりのため、既存の道路施設
の整備を重点的に進めます。

改良事業は、地域からの要望
などに基づく路線の整備を継
続し、修繕事業は老朽化して
いる橋やスノーシェッドなど
を、点検結果や交通の状況等
に基づいた優先度により年次
的に修繕を進めていきます。

道路舗装は、路面性状調査の
分析結果に基づき、計画的に
修繕を進めていきます。ま
た、農道、林道のうち、生活
道路として利用しているもの
は、その目的に合った維持管
理に努めます。



関係機関に要望していきま
す。特に、町縦貫道路の区間
は、早期完成に向けた整備促
進を積極的に要望します。な
お、県代行業業で整備した橋
屋橋は、4月下旬に開通式を
開催する予定です。

町民バス

平成24年4月
から「デマン
ドバス」方式
を導入し、運行体系全般につ
いて評価・検証を毎年実施し
ながら見直しを図ってきました。
しかし、定時定路線バス
の運行について町民の皆さん
から強い要望があり、現在、
定時定路線バスと「デマンドバ
スの併行運行について関係機
関等と協議を進めています。

下谷・群岡・新郷・奥川の4
方面への定時定路線バスの運
行について、路線認可の手続
き、必要な運転手の確保、運
行時間・停留所の調整、委託
料など、関係機関などの意見
をもらいながら平成30年度中
の導入を目指していきます。

克雪

町雪対策基本
計画に基づい
た取り組みを

進め、町民生活に支障を来さ
ないよう引き続き道路除雪に
努めるとともに、除排雪に必
要な設備や施設について整備
を進めていきます。

上下水道

上水道は、安
全で安定した
飲料水供給の
ため、老朽化した管や設備の
更新を進めます。また、下水
道は、個別排水整備事業によ
りその普及を進め、また、施
設の長寿命化と効率的な運営
に向け、計画および設計を進
めていきます。

公営住宅

現在、公営住
宅の長寿命化
に向け、西原
住宅の屋根修繕を進めていま
す。本年度は平成31年度から
の新たな計画を策定し、さら
に入居者の安全で安心な暮ら
しの確保を図っていきます。

防災

平成29年度か
ら4カ年計画
で防災行政無
線のデジタル化を進めていま
す。本年度も継続して整備を
進め、安全・安心なまちづく
りを図っていきます。

Policy speech 所信

本町の最大の課題である
「人口減少」に歯止めを掛け、
活気ある「ふるさと・西会津」を取り戻すため、
引き続き汗をかきながら
全力で町政運営に取り組んでいく

昨年8月に町長に就任してから約7カ月が経過し、この間、無我夢中で走り
回ってきました。

私利私欲を捨て、公平・公正な町政運営を実践するため、町民の皆さんの声
に真摯に耳を傾けながら、国や県、あるいは町を応援してくださる町外の皆さん
とのパイプ・ネットワークづくりにも力を注いできました。

この7カ月間は、いわば私の公約実現に向けた基盤づくりと人脈づくりの期
間であり、平成30年度が本当の意味でのスタートであると考えています。

「次世代を担う人材の育成と確保」「若者の夢を実現できる仕組み
づくり」「安心して暮らせる老後」「農林業と商工観光の振興」
「ICTのまちづくり」の5つの基本政策のもと、これまでに
成果を上げている施策等については継続し、見直すべき施策
等については改善・改革をしながら、本町の最大の課題で
ある「人口減少」に歯止めを掛け、活気ある「ふるさと・
西会津町」を取り戻すため、引き続き汗をかきながら、
全力で町政運営に取り組んでいきます。



伊藤正市団長が薄町長に受賞を報告 町消防団が竿頭綬を受賞

3月14日、町消防団の伊藤正市団長が町役場を訪れ、3月6日に東京都で行われた第70回日本消防協会定例表彰式での竿頭綬の受賞を薄町長に報告しました。伊藤団長は「受賞を契機に、これからも地域防災の要としてより一層の予防消防に取り組んでいきたい」と抱負を述べ、薄町長は「安全安心のまちづくりのため、ご協力をお願いします」と話しました。



実行委員会の設立総会を開催 「なつかしc a rショー」が復活！

3月2日に西会津町なつかしc a rショー実行委員会設立総会が開かれました。設立発起人代表として薄町長が「町を元気にするイベントとして開催できるよう、皆さんの力をお借りしたい」とあいさつした後、総会では名称や役員の選任、事業計画、収支予算が協議されました。22の団体で構成する同実行委員会では、5月のイベント開催に向け準備を進めていきます。



年間を通して最も多く本を読んだ小・中学生を表彰 小中学校でベストリーダー表彰式

町公民館では、年間を通して最も本を読んだ児童生徒を学年ごとに「ベストリーダー」として表彰しました。【表彰者(学年は平成29年度)】西会津小＝飯嶋悠さん(1年)、小柴望愛さん(2年)、三留夕都莉さん(3年)、加藤萌々香さん(4年)、小柴彩愛さん(5年)、鈴木陽人さん(6年)西会津中＝五寧朱雀さん(1年)、大竹柚希奈さん(2年)、五十嵐杏優さん(3年)



しなのきホーム西会津の施設や備品を清掃 西高生がボランティア活動

2月20日、西会津高校の生徒の皆さんが「しなのきホーム西会津」で施設の窓や階段、車いすなどを清掃するボランティア活動を行いました。同校では、年4回程度校内から希望者を募り、奉仕の心を育てることと社会貢献を目的にさまざまなボランティア活動を行っています。しなのきホーム西会津の職員は「手が回らないところもあるのでありがたい」と話しました。



3月13日 西会津中学校卒業証書授与式
未来が輝くことを信じ、歩み続けていく

西会津中の卒業式は3月13日に行われ、43人の卒業生が思い出の詰まった学びやを巣立ちました。

式では、五十嵐正彦校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡した後、「最高の仲間と共に頑張ったこと、そして強い絆を胸に一步一歩前進してください」と式辞を述べ、続いて五十嵐長孝教育長職務代理者が教育委員会告辞で、薄町長をはじめ来賓の皆さんが祝辞で卒業生にはなむけの言葉を贈りました。

在校生による送辞は水野美知さんが務め、答辞では卒業生の須藤諒さんが同級生との思い出や先生への感謝を述べた後、「学び、成長した3年間を決して忘れず、未来が輝くことを信じ歩み続けていきます」と固い決意を表明しました。

卒業式が終わると、教室で最後の学級活動が行われ、卒業生は同級生や先生との別れを惜しました。卒業生の皆さんは在校生に見送られながら3年間通った学びやを後にし、それぞれの夢や目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。



日頃のボランティア活動をたたえ表彰

ボランティア感謝祭を開催

3月3日、ボランティア活動サポートセンターの主催でボランティア感謝祭が開かれました。当日は、荒海與志男会長がボランティア活動を行った時間数に応じて会員を表彰し、新規500時間を達成した向キヨ子さん、齋藤マン子さんには金色達成賞が贈られ（写真）、新規300時間達成者には銀色達成賞が、新規100時間達成者には銅色達成賞が贈られました。

生涯学習発表会



民舞や歌謡、語り、新舞踊など

1年間の活動の成果を披露

3月11日、町公民館で生涯学習発表会が行われました。第11回を迎える今回の発表会には、町内で生涯学習活動に取り組む7団体が参加し、民舞や謡曲など、日頃の活動の成果を披露しました。「生涯にわたり楽しく学び、楽しく学習」を実践している皆さんの表情や姿はとてもいきいきとしていて、学ぶことの楽しさをあらためて実感させてくれる発表会でした。



ボランティア活動サポートセンター除雪ボランティア

民家に積もった雪をきれいに除雪

2月13日に豪雪対策本部が設置されたことから、町ボランティア活動サポートセンターでは自力で除雪が困難な高齢者などへの支援として、2月25日に除雪ボランティアを行いました。対象者宅の雪は家をすっぽりと覆うほどの量でしたが、当日は30人を超えるボランティアが集まり、スコップや除雪機などで力を合わせてきれいに除雪しました。

春を思わせるかわいらしい作品がずらり

ひなまつりの展示会を開催

桃の節句にちなんだ手芸作品の展示会「ひなまつりの展示会」が2月24日から3月3日にかけて開催されました。会場となったふるさと自慢館の展示室には、春を思わせるかわいらしい手芸作品がずらりと並び、訪れる人を楽しませていました。この展示会は今年初めて開かれ、寄贈を受けた年代物のおひなさまと町民の皆さんから募集した作品を展示しました。



3月1日 西会津高校卒業証書授与式

校訓と3年間で学んだことを胸に

西会津高校の卒業式は3月1日に行われ、32人の卒業生が人生の新たな一歩を踏み出しました。

式では、中野隆幸校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡した後、「福島で生まれ育ったことを誇りに、たゆまぬ努力を重ね前進してほしい」と式辞を述べ、続いて薄町長をはじめ来賓の皆さんが「志を高く持ち、夢や目標に向かって力を発揮してほしい」と卒業生にはなむけの言葉を贈りました。卒業生代表答辞では、江川光瑠（ひかる）さんが「不撓不屈・質実剛健の校訓と3年間で学んだことを胸に、前を向き歩き続けていきます」と力強く決意を述べました（写真）。

新発売！コーヒー牛乳風味

車麯ラスクの新風味を高校生が自ら販売

西会津高校・西高魅力発信隊の皆さんが町内の事業者と共同で商品開発したフフフッスイーツ第1弾・車麯ラスクの新風味が完成し、2月21日の活動報告会でその内容を発表しました。新たに発売するのは、「MILK(子ども)以上COFFEE(大人)未満」がキャッチフレーズの「コーヒー牛乳風味」です。翌2月22日（フフフの日）には高校生による販売会が道の駅にしあいつ・交流物産館よりっせで開かれ、会場を訪れた観光客などが新風味を買い求めました。皆さんも、高校生たちが商品開発した「町の特産品」を生かしたスイーツを、ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか。





町内児童生徒がさまざまな分野で大活躍！ 功績たたえ表彰 教育顕彰表彰式



写真＝表彰式後の記念撮影。当日は28人の受賞者の皆さんが出席しました（耶麻地区学校教育研究作品展の受賞者を含む）。

2月20日、町教育委員会では平成29年度町教育顕彰表彰式を開催しました。本年度の受賞者は個人表彰32人、団体表彰5団体で、さまざまな分野で活躍した児童生徒の皆さんに五十嵐長孝教育長職務代理者が表彰状を贈りその功績をたたえました。薄町長、武藤町議会議長が祝辞を述べ、「ここからが新たなスタート。さらなる活躍を期待します」と受賞者を鼓舞しました。式の最後には、キャリア教育に関する文部科学大臣表彰を受賞した西会津中学校の五十嵐正彦校長が「町や地域の皆さんの支援があったからこそこの受賞。感謝の気持ちを忘れることなく新たな目標に向かって進んでいきたい」と謝辞を述べました。

平成29年度受賞者

【個人表彰】

西会津小1年Ⅱ眞部煌〔西林東〕第30回全国マシニング福島県大会男子9歳以下（第2位）

西会津小2年Ⅱ眞部碧葉〔西林東〕第30回全国マシニング福島県大会女子9歳以下の部（第3位）
西会津小4年Ⅱ齋藤裕樹〔尾登〕第24回福島県学童相撲大会小学4年生以下の部（第2位）
西会津小5年Ⅱ岩原茉佑〔7町内〕第30回全国マシニング福島県大会女子12歳以下の部（第1位）
西会津小6年Ⅱ若林凛々子〔7町内〕福島県なりすまし詐欺被害防止絵手紙コンクール（特選）
西会津中1年Ⅱ塚原健翔〔下野尻〕平成29年度福島県造形秀作審査会絵画の部（特選）、長谷川姫菜〔2町内〕2017年全国選抜リトルリーグ野球福島県大会（第3位）、佐藤海〔上小島〕第30回全国マシニング福島県大会男子13～15歳の部（第1位）、渡部愛美〔黒沢〕第30回全国マシニング福島県大会女子13～15歳の部（第2位）

〔西原〕平成29年度福島県造形秀作審査会デザイン部の部（特選）、薄上冬花〔3町内〕平成29年度福島県造形秀作審査会デザイン部の部（特選）、佐藤理央〔上小島〕平成29年度福島県読書感想文審査会（準特選）、二瓶拓磨〔西原〕・渡部壮流〔上小島〕・高橋新史〔さゆりが丘〕高田宮杯第10回福島県U-15サッカーリーグ2017・1部（第2位）
会津学鳳高2年Ⅱ外島央〔下野尻〕東北中学校陸上競技大会女子共通走り幅跳び（第2位）
西会津高2年Ⅱ石井崇章〔戸中〕・武藤史明〔樟山〕・高橋志暢〔戸中〕第51回福島県高等学校新人体育大会ボート競技男子舵手付クオドルプ（第1位）
西会津高3年Ⅱ古川史歩〔橋屋〕第63回福島県高等学校体育大会ボート競技女子シングルスカル（第1位）
喜多方高1年Ⅱ佐藤優衣〔上野尻〕・平野健太〔上小島〕第55回福島県吹奏楽コンクール高等学校小編成の部（金賞）

喜多方東高2年Ⅱ佐藤みなみ〔芝草〕第63回福島県高等学校体育大会ボート競技女子舵手付クオドルプ（第3位）
喜多方東高3年Ⅱ佐藤玲菜〔上小島〕第63回福島県高等学校体育大会ボート競技女子舵手付クオドルプ（第3位）
会津高2年Ⅱ市橋明香里〔上野尻〕第70回全日本合唱コンクール（金賞ならびに大阪府知事賞）
会津高3年Ⅱ薄上叶香〔上小島〕第70回全日本合唱コンクール（金賞ならびに大阪府知事賞）
若松商業高3年Ⅱ赤城優衣〔松尾〕平成29年度全国簿記競技大会全国大会団体（第4位）
会津工業高2年Ⅱ齋藤峻〔3町内〕平成29年度福島県高等学校新人体育大会ボクシング競技ライト級（第1位）
会津学鳳高1年Ⅱ石川彩〔安座〕第69回全日本合唱コンクール東北支部大会女声合唱高等学校Bグループ（金賞）
会津学鳳高2年Ⅱ船橋桃花〔9町内1〕第69回全日本

合唱コンクール東北支部大会女声合唱高等学校Bグループ（金賞）
会津若松ザベリオ学園高1年Ⅱ津川眞奈〔西原〕平成29年度福島県高等学校新人体育大会なぎなた競技団体（第3位）
福島西高1年Ⅱ高野詩音〔芝草〕第85回記念福島県美術協会展覧会（絵工堂賞）
【団体表彰】
西会津小Ⅱ平成29年度ふくしまっ子体力向上プロジェクト（ふくしまっ子体力向上優秀校）
西会津中Ⅱ第11回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰（文部科学大臣賞）、第31回毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト（優良賞）
西会津高・放送部Ⅱ第22回福島県高校新人放送コンテストビデオメッセージ部門（優良賞）
西会津高・西高魅力発信隊Ⅱ第5回高校生ビジネスプラン・グランプリ（ベスト100）〔敬称略・順不同〕



30人の子どもたちが西会津小学校に入学 ぼくたち、わたしたち、新1年生

4月から、新たに30人の子どもたちがピカピカのランドセルを小さな背中に背負い、西会津小に通学します。今年の新1年生は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた右記の皆さんです。2月14日には西会津小で体験入学が行われ、新1年生となる園児らが先輩1年生に1年間の学校行事を教えてもらい、また、さまざまなレクリエーションなどで交流しました。新1年生となる園児らは、先輩との触れ合いを通して小学校入学への期待を膨らませていました。



3町内	西田	心絆くん	出ヶ原	田崎	愛蓮さん
4町内	星	颯亮くん	上野尻	安部	静那さん
	三留	七海さん		岩倉	万由子さん
5町内	渡邊	滯さん		星	麟太朗くん
8町内	佐藤	空輝くん	下野尻	外島	美怜さん
芝草	西田	大和くん	徳沢	佐藤	謙真くん
西原	丸山	花菜さん		豊島	璃久くん
松尾	鈴木	そらさん	白坂	石川	玲奈さん
	長谷川	太我くん	宝川	佐藤	悠伎くん
下小島	五寧	太陽くん	檜木平	佐藤	友愛さん
西林	福井	響くん	小清水	長谷沼	凛さん
西林東	伊藤	陽和さん	向原	鈴木	蒼土くん
	伊藤	舞音さん	〔平成30年3月20日現在〕		
	橋本	悠くん			
	渡辺	遼太くん			
上小島	佐藤	佑愛さん			
	渡部	美海さん			
縄沢	長谷川	優頼くん			



町役場の「組織変更」のお知らせ

健康福祉課を「福祉介護課」と「健康増進課」に

町では、4月1日から町役場の組織を一部変更し、これまでの「健康福祉課」を「福祉介護課」と「健康増進課」の2課に分割します。

これまで「健康福祉課」には福祉介護係・子育て支援係・地域包括支援センター・健康支援係・国保医療係・診療所を置き、54人の職員等からなる大課で業務を進めてきました。このため、健康福祉課が担当する業務は、健康づくりから医療、国民健康保険、介護保険、子育て支援、住民福祉など、広範囲にわたっています。また、近年では保健・医療・福祉それぞれの分野で相談件数が増加傾向にあり、今後、業務量の増大が予測されます。

このことから、適切かつ迅速な事務処理を可能にするため、健康福祉課を「福祉介護課」と「健康増進課」に分割することにしました。

健康福祉課（3月31日まで）

福祉介護係／子育て支援係／地域包括支援センター／健康支援係／国保医療係／診療所

4月1日から2つの課に分割

新 福祉介護課

係等

直通電話 45—2214
F A X 45—4199

福祉係／介護係／子育て支援係／地域包括支援センター

新 健康増進課

係等

直通電話 45—4532
F A X 45—2229

健康支援係／国保係／診療所

<問い合わせ先> 総務課 行政管理係 ☎ 45—2211

履歴書等の提出期限は4月5日(木)午後5時まで

町道整備等業務の委託職員を募集します

町では、平成30年度委託職員の採用候補者試験（面接）を行います。希望者は期日までに関係書類を提出してください。

◆業務内容 町道整備等業務

◆資格要件 普通運転免許を所有し、土木経験のある人

◆募集人数 4人

◆委託期間 4月16日～11月15日

◆委託料 日額10,200円（予定）

◆勤務地 町役場（事業実施は町内一円）

◆提出書類 履歴書（建設系資格がある場合は全て記入してください）、運転免許証の写し

◆提出期限 4月5日（木）午後5時まで（土曜・日曜を除く執務時間中）

◆面接日時 4月9日（月）午前10時
※別途通知はしませんので、当日の午前9時45分までに町役場2階・第二会議室に集合してください。

◆面接場所 町役場2階・第一会議室

◆選考方法 書類審査および面接試験

◆採用決定 採用候補者本人に通知します

<書類提出・問い合わせ先>
建設水道課 管理係 ☎ 45—4530

昨年は全国各地から約800人が参加

第43回奥川健康マラソン大会の参加者を募集

第43回奥川健康マラソン大会の参加者を募集しています。初夏の奥川路を楽しみながら、爽やかに走りませんか。

◆大会日 6月17日（日）

◆発着点 奥川運動場（奥川みらい交流館前グラウンド）

◆申込期限 5月15日（火）

◆申込方法 町公民館などにある参加申込書に必要な事項を記入し、申し込んでください。大会ホームページから申し込むこともできます。

◆参加申込書設置場所

町公民館、町役場、奥川みらい交流館、新郷連絡所、さゆり公園管理棟、道の駅にしあいづ・交流物産館よりっせ など

◆大会ホームページ

<http://okugawa-marathon.com/>



写真＝第42回大会（昨年）の様子

<申込・問い合わせ先>

大会事務局（町公民館） ☎ 45—3244

4月2日から「土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧期間」が始まります

固定資産税帳簿が縦覧できます

5月31日まで

所有する土地・家屋の価格を町内のほかの土地・家屋と比較することができる「土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧期間」が始まります。

<問い合わせ先>

町民税務課 税務係 ☎ 45—2212

◆縦覧期間 4月2日（月）～5月31日（木）

◆縦覧場所 町民税務課・税務係窓口

◆縦覧内容

土地＝所在・地番・地目・地積・評価額

家屋＝所在・種類・用途・構造・床面積・評価額

2月20日開会 平成29年度補正予算、請負契約の締結

町議会臨時会報告 2件の議案を審議・可決

2月20日に町議会臨時会が開かれ、議案2件が原案のとおり可決されました。



<問い合わせ先>

議会事務局 ☎ 45—4537

◆平成29年度一般会計補正予算（第6次）＝豪雪対策本部の設置に伴う除排雪経費（在宅高齢者等福祉サービス事業費）の追加計上など1億2,509万円を増額

◆防災行政無線デジタル化整備工事・請負契約の締結＝請負契約の予定価格が5,000万円を超えることから、条例に基づき議会に提案したもの

お知らせ

INFOMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
4月の放送案内

ケーブルテレビのニュース
情報番組をリニューアルしま
した。

◆西会津ニュースワイド

月曜～金曜日

午後6時30分～ほか

◆各種サービス加入申し込み
随時受け付け中

デジタルパック（BS・C
S多チャンネル）、インター
ネット接続サービス ほか

◆問い合わせ先

（二社）西会津ケーブルネット
☎45—4461

こゆりちゃん健康
ポイント手帳を
ご活用ください



平成30年度の「町民健康づ
くりポイント事業」が始まり
ます。こゆりちゃん健康ポイ
ント手帳を活用して、毎日の
健康づくりや健（検）診・健
康づくりイベントなどへの参
加を記録する
とポイントが
貯まり、さま
ざまな記念品
と交換することができます。
詳しくは各世帯に配布し
たこゆりちゃん健康ポイン
ト手帳をご覧ください。

◆対象者

18歳以上の町民

◆期間

4月1日～平成31年3月31
日までの間で、3カ月間連続
で記録してください

◆参加方法

こゆりちゃんポイント手帳
に日々の健康づくりを3カ月
間記録し、ポイントを集計し
てください。300ポイント

乳がん検診の
受診費用を助成

町では、乳がん検診を自費
で受けた際の自己負担額を助
成しています。詳しくは問い
合わせください。

◆対象者

平成30年3月31日現在40歳
以上で、平成28～29年度に町
の乳がん施設検診を受診して
いない人

◆対象となる検診

平成29年4月1日～平成30
年3月31日の間に受診したマ
ンモグラフィ（乳房X線検
査）を含む乳がん検診
※マンモグラフィを含まない

乳がん検診（視触診のみ
や、超音波のみの検診な
ど）は対象となりませんの
でご注意ください

◆助成額

対象となる乳がん検診受診
費用のうち、自己負担分全額

◆申請方法

申請書に必要事項を記入
し、必要書類を添えて申請し
てください

◆提出書類

①西会津町乳がん検診助成事
業補助金交付申請（請求）
書

②領収書および明細書（受診
日・検診費用・実施医療機
関が確認できるもの）

③検診結果書の写し（検診結
果書がない場合は申請書内
の「健診結果」欄に結果を
記入してください）

◆申請・問い合わせ先

健康増進課・健康支援係
☎45—4532

再確認！ごみの
正しい出し方

ごみを出す際は、次のこと
に注意してください。自分が
出すごみには最後まで責任を
持ちましょう。

◎収集できないごみは、収集
されずにごみステーション
（収集場所）に置いたまま
になります。持ち帰って分
別してください

◎必ず自分が住む自治区のご
みステーションに出してく

ださい

◎ごみ袋の口はしっかりと縛
り、中身が出ないようにし
てください

◎カセットボンベ、スプレー
缶などは、中身を使い切
り、穴を開けて「燃やせな
いごみ」に出してください

◎紙製容器包装を紙袋などに
入れてまとめて出す際は、
紙袋の上からひもなどで
縛って出してください

◎雪囲いなどに使う波板は、
粗大ごみの収集時に出して
ください

◎ペットボトルはキャップと
ラベルを外し、中を洗っ
てから出してください。

キャップとラベルは「プラ
スチック製容器包装」です
事業所から出たごみは、自
治区のごみステーションに
出すことができます。山
都工場に自社搬入するか、
一般廃棄物収集運搬許可業
者に処分を依頼するなど、
適切に処分してください

◆問い合わせ先

町民税務課 町民生活係
☎45—2215

◆問い合わせ先

県立聴覚支援学校
会津校 教頭
☎0242—221286

なりすまし
詐欺に注意!!

県内でなりすまし詐欺被害
が発生しています。不審な電
話には応対せず、交番などに
相談しましょう。

◆問い合わせ先

町民税務課 町民生活係
☎45—2215

【お詫びと訂正】
西会津診療所の
4月の土曜診療日
は7日と21日

広報にしあいづお知らせ版
3月15日号に4月の「西会津
診療所の土曜診療日」の日程
を4月7日・14日と掲載しま
したが、正しくは7日（第1
週）・21日（第3週）です。
お詫びして訂正します。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

4月1日（日）
温泉施設と
レストランが
再オープン！



温泉施設の老朽化に伴う改
修工事のため休館していた
ロータスインの温泉施設が4
月1日に再オープンします。
また、レストランは名前と
メニューを一新して個別オー
ダースタイルに生まれ変わ
り、温泉無料休憩
所には新たに名前
が付きました。

◆営業時間

◎温泉施設 午前10時～午後
9時（サウナも午前10時か
ら営業します）

◎會わse（旧・太陽のレス
トラン） 午前11時30分～
午後2時

◎まんま・くいつちーな（温
泉無料休憩所） 午前9時
～午後9時（食事提供は午
前11時～午後7時30分）

◆問い合わせ先

ロータスイン
☎45—2900

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

<問い合わせ先>
企画情報課・情報政策係 ☎45—4536

歴史文化基本構想策定事業・シンポジウム

にしあいづ物語と町づくり



く、人の手によって受け継がれるものだと思っています。先祖が一所懸命に耕してきた畑は、宝だと思っています。

3月2日、「にしあいづ物語と町づくり」と題したシンポジウムを町公民館で開催し、町内外から約80人が会場を訪れました。当日は、コーディネーターを務めた赤坂憲雄氏（県立博物館・館長）の「文化財は、活用しながら保存・継承していくもの」という言葉をヒントに、5人のパネラーが意見を交わしました。今月は、パネラーを務めた5人が話した文化財や地域活性に対する思いや考えの一部を紹介します。



コーディネーター
県立博物館・館長 赤坂 憲雄 氏

基

本構想に関わり始めた3年前は、文化財の現況が不明なことや、知られていない文化財が多くあることに不安を感じました。その背景には、文化の土壌となる「集落」の存続の危機があります。自分の住む奥川が今後も存続するためには、地域（町）の活性化が不可欠です。逆を言えば、奥川に人が来てくれれば、その手前の地域も活性化できるはずです。現在は、アートや観光の面から町外向けの取組みをしていますが、町民向けの活動にどうつながっていくか考えています。



パネラー
矢部 佳宏 氏

学

生時代は、地元の奥川には何もないと思っていましたが、自分を助けてくれた家族や親戚の存在に気づき、集落の為に、自分が戻らなければ！と思いUターンしました。今は、地域おこし協力隊として町内への移住相談を受けており「町の歴史や文化が良い」という声を多く聞きます。次の世代が暮らしやすい環境をつくりたいです。



パネラー
荒海 正人 氏



パネラー
星 敬介 氏

農

業の現状に危機を感じ、祖父の実家である上野尻で農業を始めようと一念発起しました。英語のカルチャー（文化）には「土を耕す」という意味があり、畑も文化もすぐできるものではないです。



パネラー
飯嶋 竜太 氏

町

の歴史や自然などを元に作成した「西会津かるた」が少しずつ広がり、学校などの教材としても活用され、うれしく思います。

歴

史文化担当の地域おこし協力隊として縄文土器の展示や大槻太郎左衛門のゲーム開発を行っています。さまざまな文化財を地域の人に知ってもらい、若者が町に戻るきっかけづくりとなるような活動ができればと思っています。



パネラー
江田 睦美 氏

お酒との上手な付き合い方を考える

あなたのお酒の飲み方、大丈夫？

お酒と上手に付き合うための6カ条

- ① 週に2日以上、できれば連続での休肝日を決め、周囲に宣言する
- ② 「ほろ酔い」になったらやめる
- ③ ウイスキーや焼酎などのアルコール度数が強いお酒は水などで薄めて飲む
- ④ 深い眠りを妨げる「寝酒」は避ける
- ⑤ 胃や肝臓に負担がかかるため、すきっ腹に飲まない
- ⑥ 自分のペースで飲み、ほかの人に無理に勧めない

4月は職場の送別会や歓迎会などで飲酒の機会が多い季節です。適量であれば「百薬の長」ともいわれるお酒ですが、過度な飲酒は肝臓や胃腸に負担を掛け、心臓病や糖尿病をはじめ全身にわたる病気の原因になります。また、そうした飲酒習慣が長く続くと、気付かないうちに「アルコール依存症」になってしまいかもれません。アルコール依存症になると、自分の意志で飲酒をコントロールできなくなり、家族や大切な人との関係を壊してしまう場合もあります。そうなるてしまう前に、もう一度お酒との付き合い方を考えてみませんか。

心当たりはありますか？

まずはチェック！

- ☐ 飲酒量を減らさなければいけないと思ったことがある
- ☐ 飲酒を批判されて腹が立ったりイライラしたことがある
- ☐ 飲酒に後ろめたい気持ちや罪恶感を持ったことがある
- ☐ 朝酒や迎え酒を飲んだことがある

2つ以上当てはまった人は「アルコール依存症」かも？
気になる場合は医師や保健師などにご相談ください。



適度な飲酒量を意識しよう

平成28年度の町の健診結果（40歳～74歳の特定健診の質問票より集計）によれば、「毎日飲酒する」と回答した人は34・3割で、全国の25・6割や県の25・8割と比べ高い状況にあり、一日の飲酒量も多い傾向にありました。

成人男性の適度な飲酒量は1日に純アルコール20gほどといわれ、缶ビールなら500ml缶1本程度（アルコール度数5割の場合）です。適量を意識してみましょう。

＜お酒の種類別の適量＞

- ◎ビール・発泡酒（アルコール度数5割）↓500ml缶1本
- ◎日本酒（アルコール度数15割）↓1合（180ml）
- ◎ウイスキー（アルコール度数40割）↓ダブル1杯（60ml）
- ◎ワイン（アルコール度数12割）↓小グラス2杯（200ml）

アルコールに関する問題で困っていませんか



飲みすぎ注意ですヨ！

健康支援係
内山 豊夏美 保健師

過度な飲酒をやめようと思っても自分の意志だけでは難しかったり、家族がやめさせようとして家族関係がこじれてしまったりと、アルコール問題は長引くことが多い傾向にあります。そんなときは、家庭だけで悩まずに専門機関に相談しましょう。

＜相談先＞

- 県精神保健福祉センター
024-5335-3556
- 会津保健福祉事務所
0244-29-5275

戸籍の窓口 (2月受け付け分)

■ まちの人口

	3月1日現在	(前月比)
人 口	6, 5 1 8 人	(- 1 1 人)
男	3, 1 5 3 人	(- 5 人)
女	3, 3 6 5 人	(- 6 人)
世 帯	2, 6 8 5 世帯	(- 2 世帯)

■ お誕生おめでとう

清 野	咲斗くん	卓磨・未里	下小島
田 崎	光莉ちゃん	一正・千賀子	小杉山
伊 藤	蒼悟くん	法道・千沙	向原

■ お悔やみ申し上げます

渡 部	ハナ (94)	信一	母	1町内
長谷川	正子 (89)	賢司	母	9町内1
平 野	カノ (93)	大塚 庸子	母	9町内2
皆 川	利美 (76)	初江 夫	芝草	
長谷川	秀男 (90)	武 父	安座	
目 黒	光子 (81)	日出男	母	上小島
佐 藤	武 (92)	昭 父	白坂	
伊 藤	ハル子 (95)	哲雄	母	向原
鈴木	ヤス子 (85)	邦恵	母	向原



野沢・下條の「普賢象桜」

Dream

聞いて！ わたしの夢



[野球部・部長]

佐藤 良さん

◆私の夢——

私は将来、常識プラスそれ以上の気遣いができる大人になりたいと思っています。祖父が学校の先生で、ちゃんとしている姿を見ながら育ってきたので、自然とそう思うようになりました。

学んだことをしっかりと身に付けて社会に出たいと思います。

◆努力していること——

野球部の部長として、普段からあいさつなどの礼儀をしっかりするよう心掛けています。先生はもちろん、道で会う人などにもあいさつするようにしています。

◆未来の自分に一言——

どうなっているか分からないけど、頑張れ！

Person

町民バトンタッチ

氏家 源太さん [10町内]

◆趣味は？

ゲーム・ドライブ

◆熱中していることは？

ロードバイク

◆自分を一言で表現すると？

流されやすい

◆あなたのモットーは？

人にやさしく、自分にもやさしく

◆今後やってみたいことは？

ロードレースに参加してみたい。

◆最近感動したことは？

自分が作ったものを「そんなに安くいいの？」と言ってもらったこと

◆次の方を紹介してください

K・Aさん (4町内)

とっておきの物は？

買ったばかりのロードバイク。大事に、安全に乗っています。



佐藤 敬さん (3月号)
からメッセージ

またラーメン食べに行きます。



Gallery

町民ギャラリー

今月は、フォトクラブどんぐり・大竹さんの作品です。



大竹 隆一さん

◆作 品 名

冬の河口湖と逆さ富士

◆作品紹介

古来から多くの芸術作品のモチーフになっている富士山は、風景写真好きな私にとって一度は必ず撮ってみたい被写体の一つでした。2月の一番寒い時期、河口湖に吹き渡る風が止み、水面が穏やかになった一瞬、指の凍えも忘れて夢中でシャッターを押した一枚です。



萱本の人形様送り

いつの頃から始まったのか定かではありませんが、かつて萱本には「人形様送り」という民俗行事がありました。毎年2月4日に行われていたこの行事では、子どもたちが当番の家に集まり、大人に手伝ってもらいながら藁人形を作っていました。半紙に怖い顔を書いて顔の部分に張り付け、頭には髷^{まげ}を付け、腰に木で作った刀^{しろう}を差します。そして人形様が出来上がると、鉦を叩いて「人形様の送りだ～」と掛け声を村中に響かせながら村外れまでお送りし、村の入口のサデ（稲架）の上に結わい付けて他村から悪人や悪疫が入って来ないよう監視・退治する魔除けの神として祀^{まつ}っていました。しかし、この行事は昭和32年を最後に一度途絶えてしまいました。

それから約30年後の昭和63年、県立博物館の企画展「境の神・風の神：境に立つ神々―村人共同の祈りの姿」が行われました。このとき、企画展のためにと依頼され、人形様作りを覚えていた古老にお願いして作成した人形様が博物館で展示・保管されました。10年後の平成10年、萱本自治区では地区住民の総意で「萱本ふるさとおこし実行委員会」を組織しました。県立博物館に保管してあった人形様の調査を行い、人形様を復元し、全戸総出で人形様送りを再現しました。昔は1体だけでしたが、復元時からは2体作成するようにし、サデもこの行事のために集会所敷地と端村樋ノ口の入口に作成して人形様を結わえています。この人形様は翌年の歳の神でお焚き上げし、2月にまた新しい人形様を作っています。同委員会では今も引き続きふるさとの文化財や年中行事の継承などを続けており、人形様送りは今年の2月で復活から21回目を数えました。



↑地区住民が人形様を送る様子



↑サデ（稲架）に結わえた人形様



磐越自動車道

お詫びと訂正

3月号11ページの「ベトナムにはない雪国文化を体験」で、ベトナム大使館のグエン・スアン・ティエン参事官・投資促進部長が町長室を訪れたのは、2月20日ではなく10日の誤りでした。お詫びして訂正します。

編集後記

まだまだあちこちに残る雪が目立ちますが、日中の日差しはだんだんと暖かくなってきました。春の足音が聞こえてくるようで、何だか胸が躍りますね。キャンプや釣りに山登りなど、あれがしたい、これがしたい（もちろん写真撮りながら）といった妄想が膨らむ季節です。だいたいはその半分も達成できずに冬を迎えるのですが、今年こそは趣味の時間を充実させたいと考えています。まずは桜の撮影から。今年はどんな風に撮ろうかなあ。

いつの間にか写真が趣味に 長谷川 祐一